



第3章

課題整理

第3章では、前章においてまとめた本市の都市・緑地の現況を踏まえ、みどりの役割に着目して、将来のみどりのあるべき姿を検討するにあたって留意すべき現況と課題を整理します。

The
Master Plan
of Green

3-1 みどりの役割からみた課題

都市におけるみどりは、「人が自然と共生する都市環境の形成に寄与」、「四季の変化が織りなす美しい潤いのある景観の形成に寄与」、「災害防止、災害時の避難拠点としての機能により都市の防災性、安全性の確保に寄与」、「都市住民の多様な余暇活動や健康増進活動を支える場を提供」といった大きく4つの役割があります。

ここでは、各役割に対する本市のみどりの現況を整理し、そこから導き出される課題を抽出します。また、みどりを守り・育てるためには、維持管理が重要であるため、「みどりを守り・育てる体制や仕組み」についても現況と課題を整理します。

1 人と自然が共生する環境形成のためのみどり

【都市環境の保全に関するみどりの現況と課題】

現 況

- 本市のほとんどが森林であり、山林と錦川、島田川等の河川、海岸など豊かな自然環境を有しています。
- 都市計画区域においても、市街地以外は山林が大半を占めており、居住地の近くにみどりを感ずることができず。
- 水田や畑などの農地は人々の生活や生業を支えてきた基盤であると同時に、岩国市らしい農業景観を創出しており、都市計画区域内のみどりの割合は山林に次いで農地が多く、都市環境の保全の一助となっています。
- 本市では、錦川や島田川、由宇川などの河川の周囲に市街地が形成されており、水辺を近くに感ずることができず。

課 題

- 山林や河川、海岸などの豊かな自然環境を次世代へ継承するために、これらの自然環境を保全する必要があります。
- 市街化区域内の農地の割合は高いが、今後、後継者不足等により農地の宅地転用などが進み、農地が減少することが想定され、生物多様性の確保や景観を守るために農地の保全が必要です。
- 河川沿いのみどりは、市街地においては貴重な自然空間として評価できることから、河川と一体となったみどりの整備と保全が必要です。

【生態系の保全に関するみどりの現況と課題】

現 況

- 市街地を貫流する錦川、島田川、由宇川などの河川は、山と海を結ぶ流域全体の生態系を形成しており、生態系ネットワークの軸として位置付けられます。
- 山林はもとより、市街地内に残っている農地や社寺林も生態系ネットワーク形成に寄与しています。
- 市街地縁辺部の山林は手付かずのまま放置されており、竹林の侵食が進行し、みどりの質が低下しています。
- 市街地のみどりは住宅地の開発などにより、里山として利用されていた山林や農地を中心として減少しており、元来あったはずの生態系が崩れていると想定されます。

課 題

- 生態系ネットワークの軸として河川を位置付け、河川及びその周囲の山林などを一体的に考え、保全を図る必要があります。
- 管理不足によるみどりの質の低下を防ぐために、持続可能なみどりを守り・育てるための方策を実行する必要があります。
- 市街地周辺に残る里山や農地などを生態系ネットワークを形成する要素として、保全を図る必要があります。

2 景観形成と歴史・文化の背景としてのみどり

【岩国特有の景観を形成するみどりの現況と課題】

現 況

- 景観計画における基本方針にも「豊かな自然を守り・活かす」とあり、市花であるサクラ及び市木のクスノキをはじめとする、良好な自然環境が岩国らしい景観を形成しています。
- 岩国市を代表する景勝地である岩国・横山地区や錦帯橋の背後にある城山の山林は、風致地区に指定されています。
- 城山周辺だけでなく、他地域においてもみどりと一体となった歴史的景観が残っています。
- 川沿いにある田園やハス田が形成する風景は、人々の生活と農地の関係により生まれる特徴的な景観であり、岩国市らしい景観を創出しています。
- 街路樹の並木は、市街地のまちなみを統一し、良好な景観を形成するが、老朽化や過去の剪定により樹形不良となり、景観を損ねている場合があります。

課 題

- 市花であるサクラ及び市木のクスノキをはじめとする岩国を代表する特徴的なみどりは、岩国らしい景観を創出すると同時に地域のランドマークとなっていることから、それらの保全を図る必要があります。
- 一部のサクラについては、てんぐ巣病などが広がっており、専門知識を踏まえた対策の必要があります。
- 川下地区や牛野谷地区では公共事業によりサクラ並木が伐採されるなど、サクラが減少しており、また、適切な管理がされていないことなどにより、質が低下しています。
- 風致地区の尾根部に鉄塔が建設されるなど山林部分の景観の一部が乱されており、岩国市を代表する景観を保全する必要があります。
- 各地域の歴史的景観は、周囲にあるみどりと一体となって風情を醸しだしており、歴史的景観を形成しているみどりの保全及び整備が必要です。
- 自治会アンケートによると田園やハス田などの農地は、量が減っており、質も悪化しているように感じるとの回答が多くあり、田園景観を構成する農地の保全を行う必要があります。
- 街路樹の根上がりや幹の肥大化により、持ち上げられた歩道の縁石や舗装を、適切に補修していく必要があります。
- 本市の中心市街地には街路樹等があるもののみどりが減少しており、潤いのある都市環境を形成していくためにも官民一体となってみどりを創出する取組が必要です。

3 暮らしの安全・安心を担保するみどり

【防災機能を発揮するみどりの現況と課題】

現 況

- 広域避難場所として、吉香公園や岩国運動公園、玖珂総合公園などが指定されており、大規模な公園はレクリエーション施設としてだけでなく、避難施設としても機能しています。また、各地にある小規模な公園についても、災害時の延焼防止や一時的な避難場所として機能しています。
- 山林は、豪雨時の土砂災害を防止するだけでなく、水源涵養機能も担っています。
- 農地についても、一時的に水を貯めこむことができ、防災面でも機能しています。

課 題

- 防災のために街路樹や公園の整備、都市緑化の推進等が必要です。
- 避難場所として位置付けられている公園の防災機能の拡充が必要です。
- 竹林が繁茂するなど、荒れている山林は、防災機能の向上のためにも保全に努める必要があります。
- 保安林に指定されている山林については、防災のために適切な管理を行う必要があります。
- 都市の防災性を向上させるためにも、市街地周辺の農地を保全する必要があります。

4 市民の暮らしの質を向上させる身近なみどり

【レクリエーション空間などの身近なみどりの現況と課題】

現 況

- 岩国運動公園や玖珂総合公園などの大規模公園は市のレクリエーション拠点として位置付けられています。
- 遊具やトイレなどの公園施設は老朽化が進行しており、公園施設長寿命化計画に基づく適正な維持管理を実施しています。
- 公園が密集している地区や公園がまばらな地区など、公園の配置に偏りが見られます。
- 大部分の公園が同様の機能を有しているなど、公園の機能が画一化しています。
- 都市計画区域外では、その他公共施設緑地に分類される農山村公園や広場、グラウンドなどが公園と同様の機能を果たしています。
- 市街地を貫流する錦川や島田川などの水辺は市街地の身近にあり、四季折々の景色を見せ、人々の心を癒やしています。
- 市街地の周りに残存する里山は、竹林が繁茂するなど、荒廃が進んでおり、人と自然がふれあう場所として機能していない状況です。
- 街路樹の並木は、緑陰を作り出すことなどで歩行者への負担も軽減しているが、生長に伴い、近隣の住民へ落ち葉の清掃などで過度の負担がかかっている場合があります。

課 題

- 街区公園の配置には偏りがある地域がありますが、市街地としては空地が多く、小中学校があり広場も確保できていることから、今後の人口減少、少子高齢化も踏まえて、地域のニーズに即した公園の整備の検討が求められます。
- 長期末整備の都市計画公園があり、社会構造の変化を踏まえてこれらの公園の整備又は都市計画の見直しを検討する必要があります。
- 岩国運動公園や玖珂総合公園などの市のレクリエーション拠点として位置付けられる大規模公園は、今後の高齢化を見据え、健康増進やレクリエーションの場、交流の場として、利用向上を図る必要があります。
- 市街地を貫流する錦川や島田川などの水辺や市街地周辺の里山は、市民と自然の身近な交流の場として機能させるための体制や仕組みの構築が必要です。
- 老朽化や樹形が不良となった街路樹は、地域に相応しい街路樹へ植替えなどの整備をする必要があります。
- 想定以上に生長した街路樹は、適正な方法で剪定することにより、路線ごとに生育環境などに沿って整備することが必要です。

5 みどりを守り・育てる体制や仕組み

【みどりを守り・育てる体制や仕組みの現況と課題】

現 況

- 市花であるサクラについては、様々な団体が維持管理や植樹等の活動を実践しています。
- 山林や里山については、主に各所有者の手によって管理されていますが、所有者の高齢化や担い手不足により荒廃が進んでいます。
- 農地についても、少子高齢化の進行により担い手が不足することが懸念され、将来的に耕作放棄地が増える恐れがあります。
- 公園や街路樹の維持管理は、行政のみで行っていくことが難しく、一部で自治会や住民団体が参画しています。
- 大規模な公園の運動施設については、指定管理者による維持管理が行なわれています。

課 題

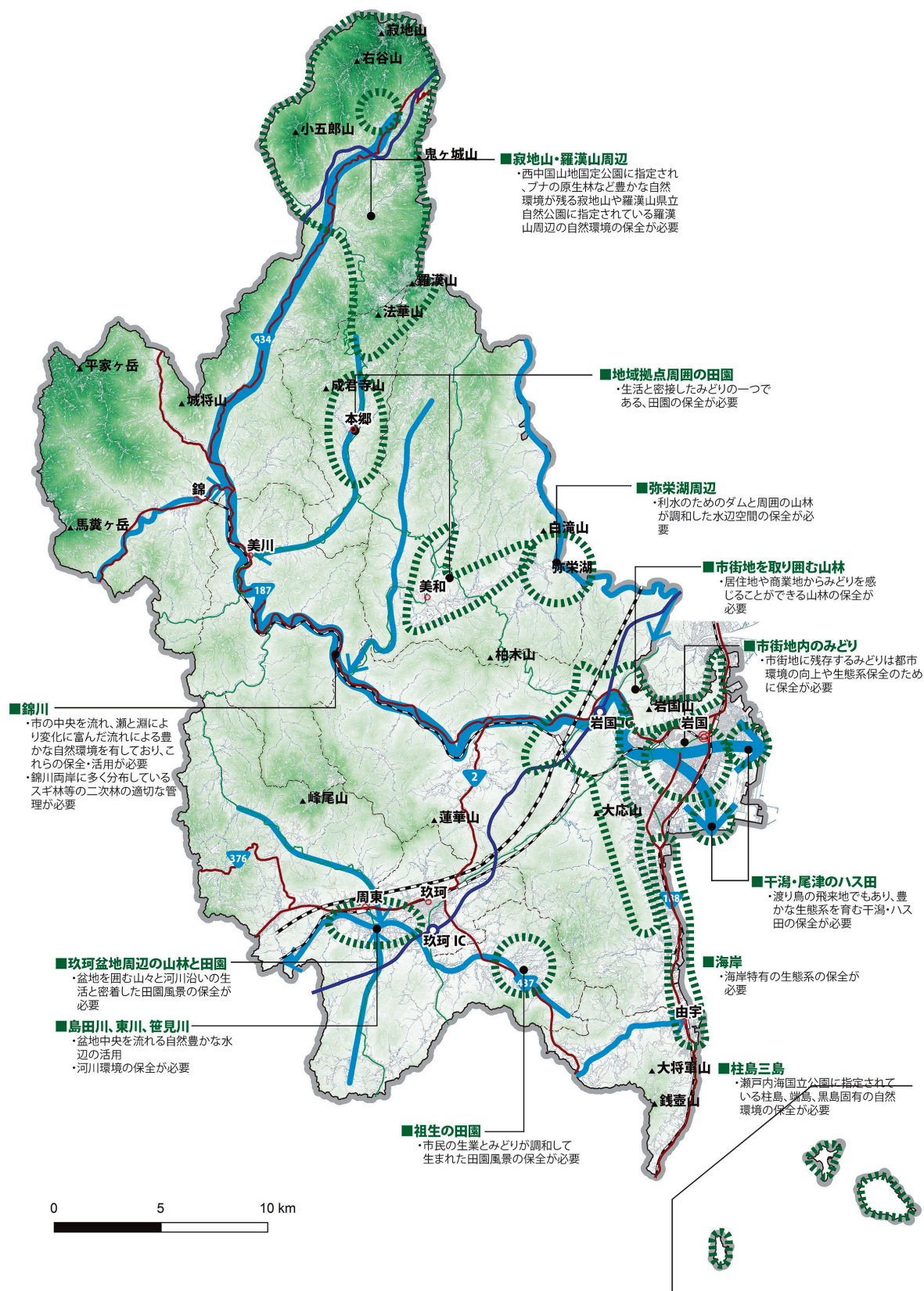
- 今後の急速な人口減少、少子高齢化により、山林や里山の維持管理の担い手が不足していくことが懸念され、持続的に実施可能な維持管理体制の構築が求められます。
- 公園・街路樹等の管理の充実を図るために、市民と協働で維持管理を行う体制や仕組みの構築が必要です。
- 自治会や住民団体等により、一部の公園や街路樹等の清掃等の維持管理が行なわれていますが、官民連携による維持管理活動の更なる拡充が求められます。
- 自治会アンケートを見ると、自然環境の保全やみどりに関する情報発信などの取組に対して満足度が低い結果となっており、維持管理に関する取組の新設・拡充やそれらを啓発するための情報発信などが必要です。

3-2

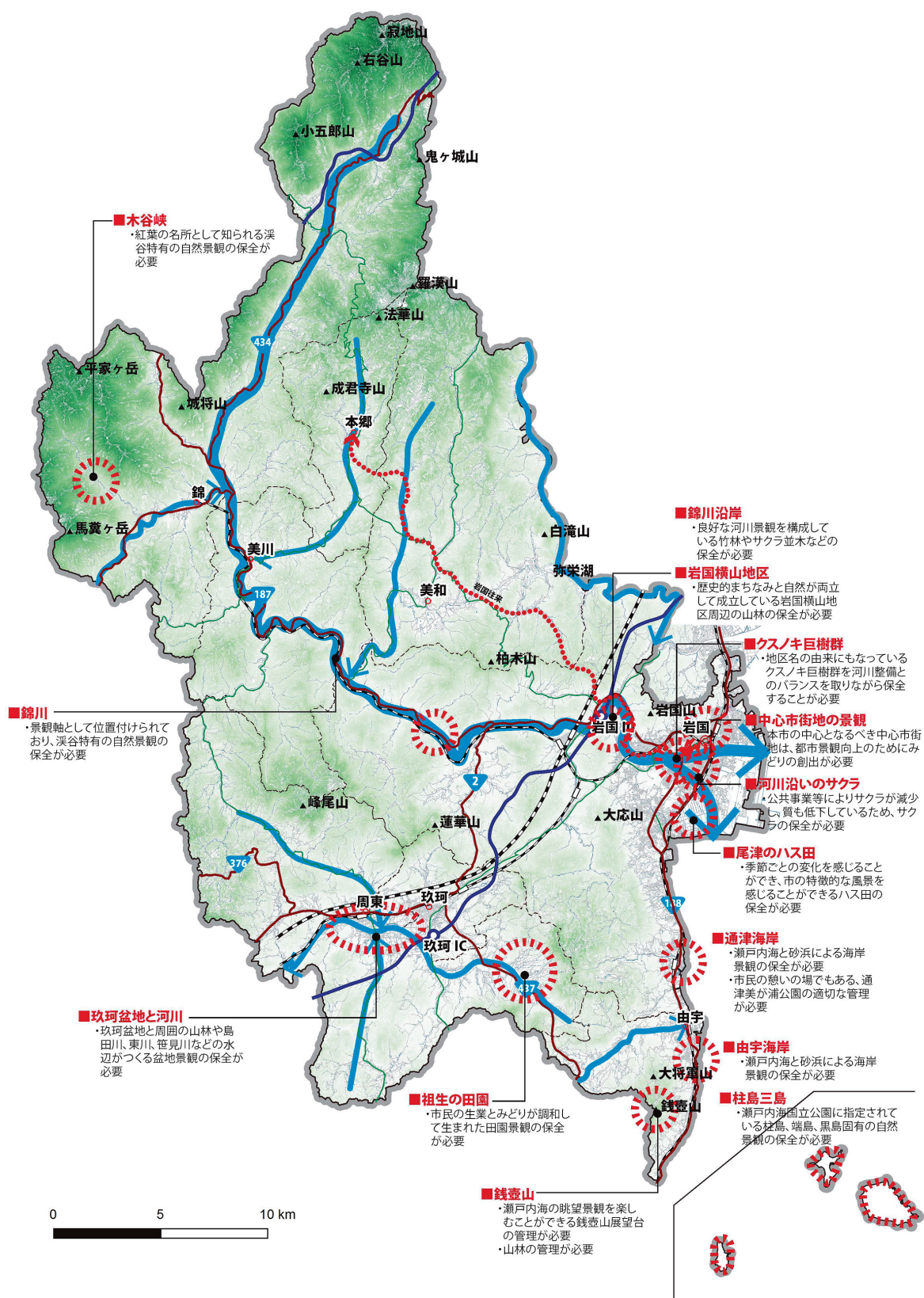
課題の整理

みどりの役割からみた課題と地域別の課題の関連を整理し、機能毎に課題図として整理します。

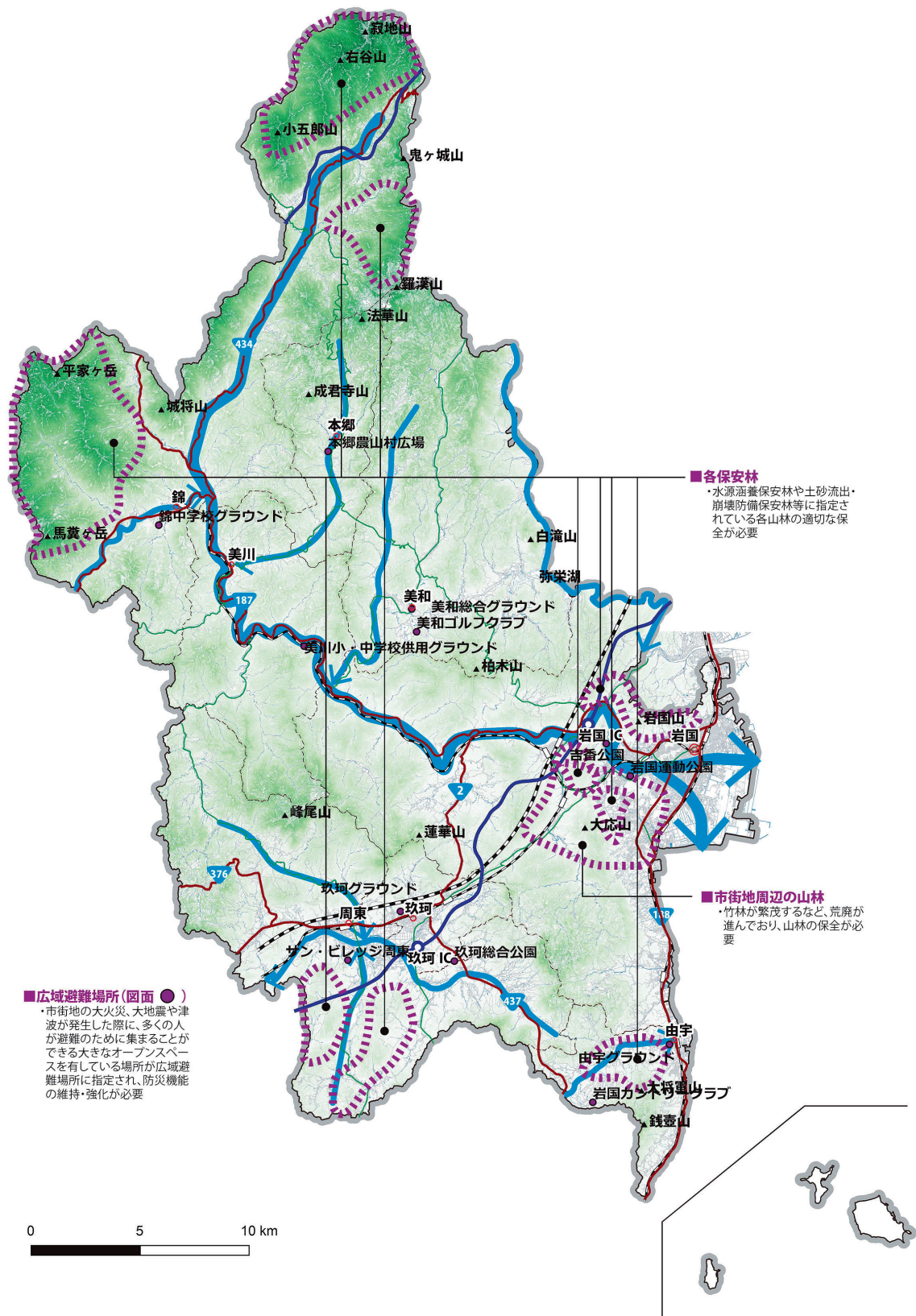
▼ 自然との共生に関する課題図



▼ 景観形成に関する課題図



▼ 防災に関する課題図



▼ レクリエーションに関する課題図

